



「チームラボ バイオヴォルテックス 京都 - 大成建設」京都 © チームラボ

チームラボ バイオヴォルテックス 京都 - 大成建設

アーティストの夢を共有する建築



新しくなった「チームラボ バイオヴォルテックス
京都 - 大成建設」のロゴ。

上／50以上のインスタレーションが楽しめる
「チームラボ バイオヴォルテックス 京都 - 大成建設」。日本初公開となる《質量も形もない彫刻》は、
「環境が現象を生み、その現象が存在を創る」という「環境現象」をコンセプトにした作品だ。



© teamLab Architects Vincent Hecht

上／同じく初公開の《生と回帰の無常の抽象 - 呼応》
は人の介入によって抽象文様がさまざまに姿を変える。
下／京都の景観に配慮し、高さを抑え、派手な色彩を
控えた外観。

Information

チームラボ バイオヴォルテックス 京都 - 大成建設

住所 ■ 京都府京都市南区東九条東岩本町21-5
電話 ■ 075-634-3923 (10:00～18:00)
開館時間 ■ 9:00～21:00 (入館は～19:30)
入館料 ■ 一般3800円～
(日時事前指定制、来場日・時間帯によって価格変動制)
休館日 ■ 不定休 (公式サイトにてご確認ください)
アクセス ■ 「京都駅」八条東口より徒歩約7分、
京阪電鉄「七条駅」より徒歩約11分
URL ■ www.teamlab.art/jp/e/kyoto/

チームラボの国内最大となるミ
ュージアムに、新たな名「チ
ームラボ バイオヴォルテックス 京
都 - 大成建設」が冠された。設計・
施工を大成建設（設計はチームラボア
ーキテクトと大成建設株式会社関西支店一
級建築士事務所）が担っているのだ。
建物の高さや深く掘ると川の水
が出る地盤など、同社は複数の問題

を解きながら現実的かつ最大限の建
築ボリュームを実現。さらに鉄骨梁
に工夫を凝らすなど、将来的な展示
替えに対応するための余白を構造体
に仕込んでいく。電気を使うアートの
必要ではある環境を守りつつ、建物に
必要な電気系統やコストとの調整も
重ねられた。外観から感じられるの
は、日本古来の美意識に通じる姿勢。
住宅地とあって、日照や工事騒音
にも注意が払われた。

アーティストにとって展示空間は
非常に大切。鑑賞者のより深い体験
と密接に関わっているためだ。しか
も本ミュージアムは作品ありきの新
建築とあってチームラボの思い入れ
はひととき。ところが設計時、作品
は未完成だった。そこで大成建設は、
アーティストの脳内にあるイメージ
を読み解いて諸問題と対峙する必要
があったという。関係者が多岐にわ

たるプロジェクトながら、全員でチ
ームラボが想い描く世界を共有でき
たことが大きな成功要因となった。
大成建設の社長、相川善郎は言う。
「チームラボが生み出すテクノロジー
ーと創造性が融合した空間体験は、
建築に新たな意味と生命力を与えて
くれるものであり、『地図に残る仕
事。』と響き合うものだと感じてお
ります。本契約を通じて、文化・芸術
活動の支援はもとより、そこから得
られる創造性や新たな視座を企業活
動に生かし、持続的な成長と企業価
値の向上を図ってまいります。両者
の強みを掛け合わせることで、この
場所が訪れる人々、特に社会を担う
若い世代の記憶にも刻まれ、新たな
着想に出会えうきつかけとなること
を期待しております。そして、地域や
社会の未来へつながら価値を生み出
す拠点となることを願っております」